

様式1

No.1

種目名	国語	選定替えの有無	有・無	選定発行者名		従来の発行者名	
-----	----	---------	-----	--------	--	---------	--

発行者 観 点		東 京 書 籍	学 校 図 書
1 学習指導要領との関連		「言葉の力」が領域ごとにバランス良く配置されており、身につけさせたいポイントを意識して言語活動を展開するのに優れている。特に、「話す・聞く」の領域では、単元のはじめに「学習の流れ」が設定され、学習過程が明確化されている。	近代の代表的な文豪である森鷗外・夏目漱石・芥川龍之介の作品（高校の教科書では取り上げられていない作品）が取り上げられている。読書案内で本の選び方を示している。
2 「あいちの教育の基本理念」との関連		道徳性・社会性の向上を目指した教材が選定されている。「話す・聞く」では、「学習の流れ」で協働的な学びを支える学習活動が系統的に示されている。「読書案内」のページが多く、読書活動の推進に関連している。	3年間を通したテーマとして、「社会と人間の関わり」「様々な関わりの中にある自己」を取り上げている。
3 内容等	(1) 内容の選択	基礎編・資料編が充実しており、基礎的な知識・技能の習得と活用に効果的である。	「声に出そう覚えよう」と題された扉詩には、力強い詩が多数紹介されている。
	(2) 内容の程度	1年の導入の教材は、「話す・聞く」から始まっており、興味を引きやすい。2年「哲学的思考のすすめ」が難解であった。説明文章では、社会的・科学的なテーマが扱われており、他教科との関わりを持ちやすい。	学年が進むごとに同じテーマについて掘り下げた内容となっており、発達段階を考慮している。
	(3) 内容の構成	「読む」単元を生かした「書く」単元が配置されており、系統的な学習に効果的である。また、「学びの扉」が設けられており、言語活動の導入として扱いやすい。古典教材が固めて配置されている意図については疑問が残る。	学習の目標が教材冒頭部分に青字で示されている。表現教材の前に、読解と表現を連携させるための「活動を考える」が置かれている。
4 表記・表現及び使用上の便宜等		資料編は色、表現ともにとっても見やすい。古典教材のカラー写真は伝統文化に親しむのに効果的である。	優しい色合いで、領域ごとにページの色を統一し、学習者が何を学んでいるのかをわかりやすくしている。
5 印刷・造本等		学年ごとに活字の大きさを変え、発達段階に応じた配慮がある。古典教材の原文も原文と同じような書体で、抵抗感なく読める。	脚注の小さな写真なども見やすい。ページが開きやすく、学習しやすくなっている。

様式1

No.2

種目名	国語	選定替えの有無	有・無	選定発行者名		従来の発行者名	
-----	----	---------	-----	--------	--	---------	--

発行者 観 点		三 省 堂	教 育 出 版
1 学習指導要領との関連		基礎・基本に取り組むものからスタートし、身につけた力を繰り返し活用しつつ、新たな力を習得していくことができるように編集されている。	百人一首や古事記、伊勢物語などが1年生から掲載され、指導要領にある「時代的・文化的背景との関連を理解し、古典に親しむ態度を育成できるようになっている。また、近代以降の作品が各学年で取り上げられている。
2 「あいちの教育の基本理念」との関連		世界に視野を広げ、国際社会の平和と発展に寄与する態度を養う内容が盛り込まれている。	特に3年生では「文化としての科学技術」や「花を贈る」など、世界に視野を広げたり、自らの人生を見つめたりできる作品が掲載されている。
3 内 容 等	(1) 内容の選択	1年「手塚治虫」、2年「村上春樹」「俵万智」、3年「あさのあつこ」など、現代の作家の作品を積極的に取り入れている。	各教材で、目標に対して、「確かめよう」、「深めよう」、「考えよう」という「学習の手引き」が示されており、思考力・判断力・表現力の育成を図る学習活動が明確になっている。
	(2) 内容の程度	各学年の学習内容が段階的・系統的に配置されている。「資料編」に自主学習に役立つ教材がまとめられている。	「福祉施設への訪問」といった学校行事と関連づけられた内容となっている。また、科学技術や世界遺産、国際社会の問題など、実社会と関連している題材が多く、発達段階に応じて視野を広げていく工夫が見られる。
	(3) 内容の構成	本編で基礎・基本をおさえ、資料編で繰り返し活用すべき実践的知識や方法が学習できるよう構成されている。	各領域が適切な分量で配列されている。「読むこと」と「書くこと」や「話すこと・聞くこと」との関連が図られており、学習計画がたてやすい。
4 表記・表現及び使用上の便宜等		資料編では、伝統芸能の紹介として、能や狂言などのカラー写真が掲載されてわかりやすく説明されている。	特に古典教材において、資料や折り込みで写真や資料が掲載されており、生徒の興味・関心・意欲を高める工夫が見られる。
5 印刷・造本等		カラーユニバーサルデザインの観点から、色の濃淡や罫線などの工夫を凝らすことで、誰もが使いやすい教科書となるよう配慮されている。学年ごとに活字の大きさを変え、発達段階に応じた配慮がなされている。	表紙・見返しは、ともに淡い配色で、極めてシンプルである。図表などにおいても、文字を大きく、わかりやすい色使いがなされている。

様式1

種目名	国語	選定替えの有無	有・無	選定発行者名		従来の発行者名	
-----	----	---------	-----	--------	--	---------	--

発行者 観 点		光 村 図 書		
1 学習指導要領との関連		学習指導要領の目標をしっかりと押さえつつ、1年「学びをひらく」、2年「学びを広げる」、3年「学びを深める」といった視点で効果的に配列されている。		
2 「あいちの教育の基本理念」との関連		国語力及び言語力の確実な定着はもとより、豊かな心やコミュニケーション能力の育成を図り、情報社会を強く生き抜く能力を培うにふさわしい教材を多く取り上げている。		
3 内 容 等	(1) 内容の選択	「大人になれなかった弟たちに……」「ちょっと立ち止まって」などの教材はそのまま残し、新たに、震災関係の作品や国際的視野を広げる教材などを巧みに取り上げている。		
	(2) 内容の程度	各学年の興味・関心に応じた内容を取り上げ、生徒が主体的に、能動的に学習に取り組めるように工夫されている。 また、扱う時期に応じて、季節感が強く感じられる教材を採用している。		
	(3) 内容の構成	各学年とも、「基礎・基本」から「習得・活用」、そして「振り返り」へと教材そのものが発展的に配列され、理解に応じた学習が意図されている。		
4 表記・表現及び使用上の便宜等		新出漢字や注意する語彙などは、欄外を上手く活用し、工夫されている。 一つの教材における漢字の提出数を制限して、過重負担とならない配慮もされている。		
5 印刷・造本等		表紙は堅ろうで、印刷は鮮明である。特に見返しからのページは、紙質もよく、写真が鮮やかである。		